

様式第 3 号 (第 2 条関係)

病院 (診療所、助産所) 開設許可事項変更許可申請書			
岩手県知事 達増 拓也様 (岩手県釜石保健所長)	申請年月日	令和 5 年 / 月 27 日	
	開設者住所 (法人であるときは、主たる事務所の所在地)	東京都目黒区東が丘二丁目 5 番 21 号	
	開設者氏名 (法人であるときは、名称並びに代理者の職名及び氏名)	独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄	
名 称	独立行政法人国立院機釜石病院		
所 在 地	岩手県釜石市定内町 4 丁目 7 番 1 号		
開設許可年月日	昭和 28 年 7 月 1 日	許可番号	
変更事項 (該当事項を○で囲むこと。)	<p>1 開設者 (助産所に係る開設者を除く。) が医師又は歯科医師以外の者であるときは、開設の目的及び維持の方法</p> <p>② 従業員の定員</p> <p>3 敷地の面積及び平面</p> <p>4 建物の構造概要及び平面</p> <p>5 療養病床、精神病室、感染症病室、結核病室又は妊婦、産婦若しくはじよく婦を入所させる室の入所定員</p> <p>6 医療法第 21 条第 1 項第 2 号から第 8 号まで、第 10 号、第 11 号及び第 12 号に掲げる施設構造設備の概要</p> <p>7 歯科技工室の構造設備の概要</p> <p>8 病床数、病床の種別ごとの病床数及び各病室の病床数</p>		
変更理由	<p>当院は、医療法施行規則第 50 条第 1 項第 1 号に規定する地域区分のうち、辺地・山村に該当する釜石市に所在し、脳血管障害の診療とリハビリテーション及び小児てんかん・心身症・発達障害の児童を受け入れ、並びに国の政策医療である重症心身障害の診療と療育を実施する特化した医療を提供している。</p> <p>当院の脳血管障害病棟は、地域の急性期病院や診療所の後方支援病院の役割を果たす唯一の病院であり、常時待機患者を抱えている。また、重症心身障害についても岩手県三陸沿岸地域では当院だけである。</p> <p>これまで医師の確保については、岩手医科大学などに対し機会あるごとに働きかけを行ってきたが、岩手県の人口 10 万人対医療従事医師数は 193.8 人と全国平均の 253.6 人を大きく下回っている状況もあり、追加派遣は叶わない状況にある。</p>		

	<p>また、釜石医療圏では県平均よりさらに少ない141.59人という医師不足が深刻な地域でもあり、当院のみならず近隣病院においても、医師確保が勘案事項となっている実情にある。当院の医療は、地域において極めて専門性が高い特殊な医療を提供していることもあり、必要な専門医師の確保はさらに厳しく、多方面にわたり医師派遣の要請等を行ってきたものの、専門医師の継続的な確保は困難な現状にある。</p> <p>国立病院機構内においては、北海道東北グループの支援による病院間医師派遣により仙台医療センターからの診療支援を得ているものの、必要数に足りる医師の確保には至っていない。</p> <p>更に、現在の常勤医師は院長を含めて4名となっているが、体調が思わしくなく入院治療や自宅療養が予測されている医師もあり、1名が勤務できないだけでたちまち7割を下回ることとなることが確実であることから、医療法施行規則第50条の規定に基づく医師標準人員の特例について、当院の事情を御賢察のうえ、御高配賜りますようお願い申し上げます。</p>
変 更 前	変 更 後
医師の定数 10.878名	医師の定数 9.790名